

「渋谷駅中心地区広場ビジョン」(案)に関するパブリック・コメント  
実施結果について

1 実施期間

令和7年9月16日(火)から令和7年9月30日(火)まで

2 意見総数

25件(提出人数:7人)

内訳

郵送	持参	ファックス	電子メール	区公式LINE
0人	0人	0人	3人	4人

※複数のご意見をお寄せいただいたものがあるため、意見総数と提出者の合計人数は一致しません。

※個人や団体が特定できる内容は除くなどして意見の要旨としています。

※頂いた意見については、分類の都合上、同一意見として記載している場合や、切り分けて別の意見として記載している場合があります。

3 提出された主な意見と区の考え方

別紙のとおり

No.	主な意見要旨	区の考え方
1	樹冠被覆率が圧倒的に少ないと思う。かなりの面積を樹木植樹し、地面などの素材もクーリング効果のあるようなもので作るなど過酷な環境にならないようにして欲しい。	本ビジョンに定める「憩い・潤い・リラックス」機能として、周囲の植栽や夏場の日陰等の要素にも留意して広場整備を検討してまいります。
2	信号待ちや、待ち合わせの際に日陰となる木が欲しい。	
3	広告に自治体の防犯対策の取組みの知らせや交通ルールの遵守などを頻繁に入れて欲しい。	渋谷駅周辺の広告・サイネージを活用した防犯・防災や交通ルールに関する積極的な情報発信に努めてまいります。
4	ハチ公像が工事により移動する可能性があるという聞いたが、渋谷を象徴する顔であるため、なるべく定位置のままでいてほしい。	ハチ公像については、今後の整備に合わせ駅前広場のシンボルとなるよう適切な位置への配置を検討してまいります。
5	植え込みなどに空き缶や飲料カップのゴミが多く、ゴミ箱の設置などを関連企業と連携して、回収できる仕組みがあると良い。その際、ごくシンプルに海外の方にも分かるような分別マークかテキストがあると良い。	現在、ポイ捨て対策の強化を考えており、いただいたご意見踏まえ、引き続きポイ捨て対策の内容を検討してまいります。
6	「ロボットを導入した自動清掃などによる維持管理の効率化」が記されているが、ゴミのポイ捨てが非常に大きな地域課題となっているので、是非ともゴミ箱を広場に設置するようにして、「ロボットを導入した自動清掃やスマートゴミ箱などによる維持管理の効率化」などと記載していただきたい。	
7	ハチ公広場周辺においては「見る・見られるの関係」だけでなく、「眺める機能」がより重要になってくる。ハチ公広場や中央棟4階広場の設えとして、スクランブル交差点やハチ公像の眺めを楽しめる空間づくりが求められる。また、アーバンコアは視点場として最高の立地であるので、踊り場や撮影エリアを確保すべきである。	ハチ公広場周辺の整備において、「眺める機能」は大変重要な要素だと考えており、アーバンコアからまちを眺められるように広場整備を検討しています。

8	広場の機能の一つとして「防災（非常時）」が挙げられているが、ここにインバウンドに関する言及が見当たらない。「インバウンド増に対応した観光的な視点が必要」との記述はあるが、「防災的な視点」も本ビジョンでしっかりと示すべきである。	インバウンドについても来街者として考えております。インバウンドの「防災的な視点」については「渋谷駅周辺地域都市安全確保計画」を踏まえ、検討してまいります。
9	「エリアマネジメント団体等による、適正な利用、管理運営、収益の活用等のルールが必要」とあるが、パブリックスペースを活用して収益を上げるので、収支に関する情報開示をルールに盛り込んでいただきたい。	エリアマネジメント団体等には、公共的な活動の観点から適切な運営に努めるよう指導してまいります。
10	「対象とする広場空間」に MIYASHITA PARK の広場空間も加えていただきたい。エリアのほぼ外側にはなるが、同じく外側にある「渋谷リバーストリート第二区間」が対象とする広場空間に指定されているので、北東方面の東口広場の延長として MIYASHITA PARK も本ビジョンの対象広場として利活用を図るべきである。	本ビジョンでは、まずは駅直近の開発街区における広場空間についてのあり方を示しております。今後周辺のまちの状況をみながら対象となるエリアの拡大を検討してまいります。
11	提案では、交通結節点の乗換や他の施設に移動する手段として、自由通路が設けられていますが、本書を読む限りではイコール広場としての位置付けをなさりたいと見えます。自由通路は通勤、通学、買い物に利用する導線であり、「広場」としての機能を持ちこめる空間とは、相容れない競合空間となるので、考え方自体に無理がある気がします。	駅の東西を繋ぐ自由通路は、対象となる広場空間からは除いています。
12	「広場」はあくまで、渋谷区民を含めた使い勝手が良い空間整備を行って欲しい。各事業には、国、都、区の多額の公費が費やされていると思うので、企業体の利便に供することなく、一般人の利便と安らぐ施設となるよう願っております。	いただいたご意見を踏まえ、渋谷区民や来街者にとって、安全で快適な広場空間の整備に努めてまいります。

13	再開発及び広場作りありき進行で、意見を排除し、渋谷駅中心地区広場ビジョンのパブリック・コメントで渋谷民の意見も聞いたふりするパフォーマンスは止めよ。	本ビジョンの原案はインターネットによる一般広場利用者等へのアンケート調査、広場運営者やイベント運営業者等へのヒアリング、地元町会や商店会の意見聴取を踏まえ提案されております。更に広くご意見を伺うために、パブリック・コメントを実施いたしました。
14	インターネットによる一般の広場利用者等へのアンケート調査、広場運営者やイベント事業者等へのヒアリング、とあるが、これが、渋谷民排除だ。地元町会や商店会は、渋谷の文化の創造もしくは発信とは関係なく、渋谷民を代表しない。他は広場関係を前提としたヒアリングしかしておらず、恣意的だ。	
15	『都市空間（特に、広場空間）』への期待が高まっているという表現は、最初から広場関係者にしかアンケートをしていない。広場空間には、地面の広場と構造物内広場がある。これを一緒に扱う事も、論点隠し。	
16	渋谷民との意見交換会をあらためて行え。	
17	3.1 及び 3.2 から、対象エリア周辺の特性と広場に求められる意見や改善課題等を整理したとあるが、全てのデータがいい加減であり、又主な意見などの意見者は、「渋谷駅周辺地域の整備に関する調整協議会等における地元からの意見、広場運営者・イベント企画者へのヒアリング・アンケート、来街者向け Web アンケート」とあり、わざわざ渋谷の生活文化を担う渋谷民を排除して、都合のよい結論に結びつけており、協働型ではない、違いを排除の実例でしかない。やり直せ。	
18	災害時に必要なのは、災害時集合場所へのスムーズな移動であり、その際に余計な施設は妨げリスクの方が高い事を考慮すべき。	いただいたご意見を踏まえ、渋谷区民や来街者にとって、安全で快適な広場空間の整備に努めてまいります。

19	「安全安心なまちの実現を目指すことが示されています。」は、根拠を示せ。重要な広場とする立体広場は、他もだが、維持費、環境悪化及び災害時事故問題を別に議論せよ。	「安全安心なまちの実現を目指すこと」は、まちづくり指針 2010 に示されています。
20	多数のイベント需要がある事を示せ。	広場運営者やイベント事業者等へのヒアリングにおいても、渋谷駅周辺におけるイベント需要は高いと聞いております。稲荷橋広場等の公共性の高い広場では、定期的にイベントが開催されています。開催されているイベントは、民間事業者による商業目的なものだけではなく、地元住民等による企画や参加されているイベントも多く開催されています。
21	本当にどれだけ「広場」需要があるかが示されていない。人が集まる根拠を示せ。	
22	広場の必要性をもっと精査しなければ、広場ビジョンそのものに正当性がない。宮益坂地区再開発及び渋谷駅東口地区再開発並びに、渋谷二丁目西地区再開発計画等が含まれておらず、全体での本当の広場供給量が見えない。	これまで駅前広場等は周辺の交通需要や地元意向等も踏まえて検討しています。本ビジョンでは、渋谷駅中心地区を対象区域としていますが、周辺のまちの状況をみながら渋谷駅中心地区全体にその考えを広げていきます。
23	将来の歩行者交通量計算は、現在交通量と再開発計画による関係人口増加の単純足し算のようだが、つまり将来ではない。人口減少も考慮せよ。	本ビジョンにおける将来交通量は、再開発計画以外の人口増減予測も踏まえた将来交通量となっています。
24	渋谷駅中心地区まちづくり指針 2010 によれば、世界に開かれた生活文化の発信拠点渋谷のリーディングコアとして、7つの戦略とあるが、「渋谷駅中心地区広場ビジョン」は1～7の全てに反している。	本ビジョンにおける広場機能の考え方については、渋谷駅中心地区まちづくり指針 2010 の戦略を踏まえて検討しています。
25	広場ありきで、「将来像実現のために必要な広場の機能」をリストしているが、普通のターミナル駅周辺に求められる機能であり、現在の渋谷駅周辺にある機能も多い。	本ビジョンでは、渋谷駅中心地区における広場空間のあるべき将来像と、将来像実現に向けて広場空間に求められる機能を示しております。